

## 森林所有者から消費者までをつなぐ仕組みづくり

## 1 テーマの趣旨・目的

新潟県上越地域の新設木造着工戸数は年間700棟程度であるが、そのうち構造材等で上越地域産材を主に利用した住宅は例年10棟程度で、需要側から見た地域材のシェアは2%に満たない。

一方で、当地域の素材生産量は約1万2千m<sup>3</sup>/年と十分な量がありながら、大部分は合板やパルプ用、発電用燃料として地域外へと出荷されており、地元製材工場への出荷は約2千m<sup>3</sup>/年と、供給側から見た地域内利用（製材用）のシェアはわずか17%程度にとどまっている。

こうした中、本県では、林業関係者が一体となって県産材の供給・利用に取り組む「つなぐプロジェクト」をR4年度から県内全域で展開しており、当地域においても、需給のミスマッチを改善し地域材の流通量を拡大させるため、上越市中郷地区の森林を対象に、森林所有者から消費者までをつなぐ仕組みづくりに取り組み始めたので、その内容を紹介する。

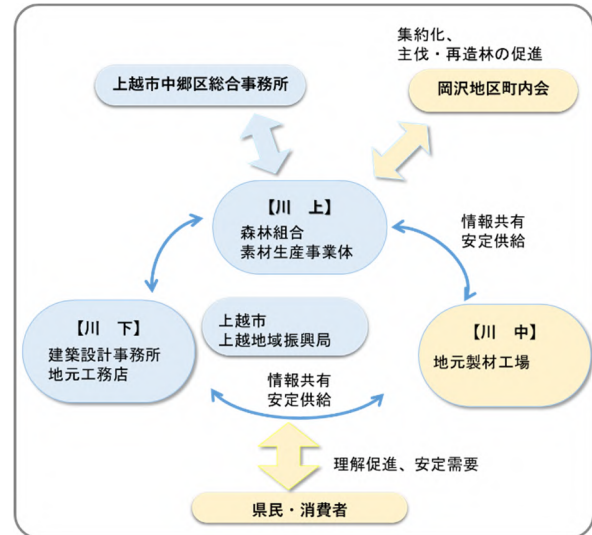
## 2 現状及びこれまでの取組の成果・課題

## (1) 現状

当地域は、県森連原木市場や合板工場、バイオ発電所といった大口需要者からの距離が100km以上離れており、原木の輸送が不利な立地にある。そのため、近隣の小口需要者との相対取引の拡大が望まれるが、川上から川下までの関係者間の連携が乏しく、需要と供給がマッチングしていない。

## (2) 取組内容と成果

工務店等への個別訪問により当取組に賛同する需要者を募り、素材生産者と一体となって地域材の供給と利用の拡大に取り組む「中郷地区つなぐプロジェクト」を立ち上げた。



「中郷地区つなぐプロジェクト」のスキーム

## ① 地元説明会

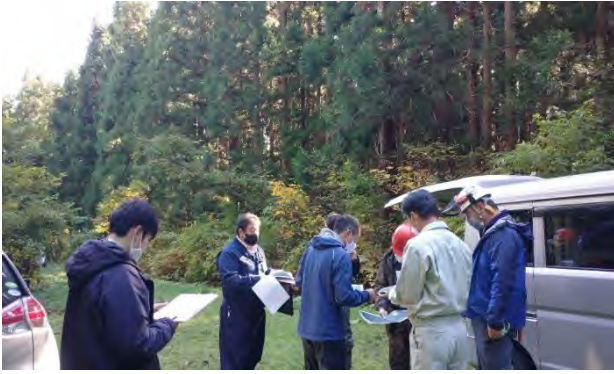
素材生産者・製材工場・市担当者とともに地元説明会を行い、当取組への理解と協力をお願いするとともに、地元の要望等のききとりを行った。



地元町内会との意見交換

## ② 現地調査

関係者とともに現地調査を行い、素材生産候補地を確保するとともに、搬出方法等の検討を行った。



団地の確保と搬出方法等の検討

③ 素材生産と利用の計画の共有

当地区における素材生産の計画とプロジェクトチーム内での利用の計画を取りまとめて共有することで、需要と供給のミスマッチの改善に努めた。



需給計画の取りまとめと共有

④ 関係者をつなぐ場の提供

関係者同士の意見交換の場を提供することで、相互理解を深めてもらうとともに、希望する工務店は地元製の製材工場へ案内するなどのマッチングを図った結果、地域材利用の新たなつながりが生まれ始めた。



交流の場の提供



工務店と製材工場のマッチング

(3) 課題

地域材の流通量を拡大させるためには、当取組に賛同する工務店等の需要者をさらに増やしていくとともに、公共施設等でも積極的に利用していく必要がある。

また生産量だけでなく、素材の品質や規格についても需要側と供給側の相互理解を深めていく必要がある。

3 今後取組むべき内容

地域材の需要者をさらに増やしていくため、一般県民や建築士、市の営繕担当者等を対象とした現地ツアーの開催を予定している。

また、川上から川下までの関係者それぞれの要望を、お互いがフィードバックできるよう、プロジェクトチーム内外での意見交換をサポートしていく。



製材工場の要望に応じて採材・仕分けされた原木